

令和 7 年度（2025） 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：宇宙線観測におけるオープンデータにむけたシステム構築の検討 英文：Preliminary research for developing the open data system
研究代表者	竹田成宏（東京大学・宇宙線研究所・助教）
参加研究者	
研究成果概要	F01 でまとめて執行。 初年度に続き機器の購入を進めつつ、作業としては近隣研究分野の他実験グループにおけるオープンデータシステムをはじめとして様々な関連情報の収集を進めてきた。近年では学術論文で使用したデータだけでなく、その加工(作図)のためのコード付帯機能もますます重要になっている。また、その範囲は論文のエビデンスとなるデータだけではなく、研究ノートやメモ、実験・観測やシミュレーション等から直接得られたデータやそれを加工したデータも含まれる。これらを適切なエンバーゴ期間を設定したうえで、FAIR 原則に則りオープン・アンド・クローズ戦略に基づく研究データの管理・利活用を見越して当研究課題を推進する必要性を実感できた。 これを受けて、国立情報学研究所が整備を進め近年本格有用を開始した研究データ基盤システム（NII Research Data Cloud）についても情報を収集し、その利活用についても検討をすすめている。このシステムは我が国における研究データの管理・利活用のための中核的なプラットフォームとして位置付けられており、その連携は当研究課題におけるオープンサイエンス・オープンデータにとっても重要な意義を持つ。ちなみに、機関レポジトリである東京大学学術機関レポジトリ UTokyo Repository にある「137 宇宙線研究所」の登録件数は 1 件のみであり、プラットフォーム間の連携は常に意識しなければいけないことがより明確になった。この方針に従って開発を継続する。